

ポリクリを終えて

臨床予備実習（ポリクリ）を終えて

歯学科5年 島方 麻里

すんなり女子でのじゃんけんに出負けました島方です。思えば大切な場面でのじゃんけんはいつもチョキで負けている気がします。かわいい女の子はグーなんか出さないという思い込みのせいです。みんなのこぶし力強かったよ！

総合診療部における診療の日々は、非常に刺激的で、ポリクリの印象が薄れつつありますが、今振り返ってみても、とても意義のあるものだったように思います。今、私達は、学生で国家資格がない立場ですが、実際に患者様の治療をさせていただいています。そのための予備実習がポリクリです。実際には5年生の5月から10月の期間において、各診療科をまわって見学や相互実習を行いながら臨床での基本的な技術を学びます。各診療科での詳しいポリクリの内容は前川君が書いてくれるんじゃないかなって期待して、私は個人的な感想を書きます。

私はポリクリが始まる時、すごく不安でした。その理由は二つあります。まず、一つ目に、4年生までは実習室での模型実習が主でしたが、それさえも自分が納得できるようなものがないことへの不安がありました。技術的に未熟な自分が、患者様のいる診療室に緑衣を着てでることへの引け目もありましたし、友達を患者様に見立てて実際に診査や処置を行うことができると思えなかったのです。そして、二つ目に、11月から診療にでるためにみっちり先生方にしごかれると思っていたこともあります。実際に始まってみると、始めのうちは診療室に半日いるだけで何故か筋肉痛になるほど緊張しました。しかし、緊張と同時に、今まで学んだ診療の内容を実際目の当たりにすることに、楽しさすら見出せるようになりました。そして、患者役は友達といえども、マネキン



とは違って生身の人間です。実際に人間を相手にするわけですから、臨床を想定しやすく、わかりやすい説明と安全に気を配ることの難しさを考えられるようになり、診療のイメージがつかめたような気がしました。また、先生方は私達が臨床で実際使える技術をもちあわせていないことを責めず、ポリクリをやりぬけるようにサポートしてくださいました。

しかし、振り返ってみると、もっとポリクリを充実させるために、努力すべきだったと後悔することが多々あります。何故なら、診療を行っている今、臨床の知識・経験の無さを痛切に実感しているからです。臨床で起こる1つ1つのことにどう対処していくか考えるとき、少ない知識・経験のなかで、「ポリクリでは、ああしていた」とか、「たしか先生がこう言っていた」などという記憶にすぎるときがきます。せっかく与えていただいたポリクリの期間に、より多くのことを学び、また実際に使える知識として身につけるべきだったと思います。

具体的にいくつか思うことがあります。ポリクリの大部分は「てびき」にそって行われます。私は予習するとき、技術については「実際にやってみないとわからないだろう」という考えがあり、「てびき」の内容の理解できない部分を解決しないままポリクリに臨んでしまうことがありました。でも、このような場合には、ただポリクリを

こなすだけになってしまいます。自分でできる限り調べ、考え、シミュレーションしていくことで、少しでも余裕をもってポリクリに臨むことができ、もっと多くのことを学べたと思います。また、そもそもなぜ、ポリクリでこの課題をあたえられたのか、つまり臨床のどの場面で役に立つことなのか、よく理解して臨まなければならなかったと思います。そうすることで、より臨床を想定でき、そのなかで出てきた疑問をそのとき解決できれば、臨床で生かせる力になったと思います。また、疑問に思ったことはポリクリの期間内に解決すべきだったと思いました。先生方は優しく指導してくださいますが、手取り足取り、1から10まで教えていただけるほどの時間はありません。実際に、質問しなければ知らずに終わっていたことも多々ありました。私たちは、教科書には載っていない臨床での“普通”というものが全くわからず、思わぬところでつまずいてしまうことが多くあります。ポリクリでわからなかったことが実際臨床にでたら急にわかるということは当然無く、本で調べてわかることでもないのです。したがって、解決できる機会を与えられているポリクリのなかで解決すべきだったと痛感しています。

以上、ポリクリを終えて思うことを書きました。私たちは、今もなお、ポリクリで得られなかったことを日々体験し、ポリクリで学んだことを活用できる機会を与えていただいています。もちろん、診療をさせていただいているといえども、自分1人では無事に診療を終えられないほど、できないことだらけです。それでも、私が、実りある日々を過ごしているのも、厳しくも優しい先生方のご教示と、未熟な私たちに快く協力して下さる優しい患者様のご理解あってのものだと感じています。この恵まれた環境のなかでより多くのことを学び、社会に貢献できる歯科医師になれるようみんなと頑張っていきたいと思います。

臨床予備実習（ポリクリ）を終えて

歯学科5年 前川裕貴

こんにちは。野球部とバレー部に所属している前川裕貴と申します。冬の間は野球の練習があまりできないのでバスケットにも参加させていただいています。いろんな部活に顔を出しているのですが、あの人は何部なんだろう？って不思議に思う後輩も多いかもしれませんが1年のときからずっとやってるのは野球です。今回、ポリクリについての執筆依頼を受けまして、お世話になっている後輩に参考になればと思いポリクリについて紹介しながら書いていこうと思います。

4年生の時、部活では幹部学年として野球部の主将を1年間務め、学校では歯周・矯正・義歯・Cr-Br・小児などの実習をこなしても大変な年でした。4年が終わったときは本当にホッとしました。5年になったら少し落ち着きたいなあ……って思っているときにこのポリクリはやってきます。先輩方の話でポリクリについて少しは聞いたことはあるものの、その具体的な内容についてはよく分からないまま4月終わりにポリクリの説明会が行われます。説明会では診療衣や服装・髪型などについて説明されたあと、各診療科の先生がそれぞれの科で行う実習について説明されます。このとき感じたのは学生気分はもう終わりということです。半年後には患者様に実際に治療を行う歯科医師の卵として病院に出て行くことになります。やはり患者様の立場からすれば学生・先生の区別無く病院の一員として見られます。病院の規則に従い、自分も病院のスタッフの一員であ



ると自覚していくことが必要になってきます。

ポリクリは簡単に言えば臨床実習に出る準備として、今まで学習したことを復習することと、共用試験のOSCEの対策です。実際に患者様に触れる前に復習が必要なことや勉強が足りないところを、ポリクリを通して確認し自分で学習するよい機会になります。できるだけ不足や不安をなくして臨床実習に出て行くことがとても重要になってきます。また、ポリクリは6~7人のグループで行動するのでグループのメンバーで会話したり、相互実習することが多くなります。

ではこれから各科で自分が経験したことを述べていきたいと思います。

・歯周病科

僕のグループはまず歯周病診療室から始まりました。歯周病の病態説明やブラッシング指導のOSCE対策やSRPの相互実習を行いました。SRPではいきなり浸潤麻酔の相互実習があり、お互いに麻酔をしました。心の準備が……なんて思う暇もなく麻酔をする日がやってきました。表面麻酔後、前歯部の歯肉頬移行部と歯間乳頭部に麻酔したのですが、麻酔をされるより、するほうが緊張しました。これから先たくさん麻酔を打っていくと思いますが記念すべき1本目になりました。

・画像診断診療室

ここではデンタルやパノラマの撮影を実習しました。実際に自分のX線写真を見ると興味深く、何か異常がないか探したりしました。自分は何も異常は無かったのですが、毎年何か見つかる人がいるようです。

・総合診療部

総診の実習ではOSCE対策で医療面接の相互実習をしました。急性疾患と慢性疾患の二つの場合の患者様を想定して医療面接を行いました。この医療面接ではOSCEで必ず出題されるので非常によい練習になります。相互に何がよかったか、悪かったかをフィードバックしていくことでお互いに足りないところを補っていくことができました。

・小児歯科

小児歯科では患者様や患児にブラッシング指導

などを行う相互実習を行ったり治療方針や咬合誘導について勉強しました。また模型でシーラント処置の実習を行いました。小児を相手に話すのはとても難しくブラッシング指導を行うのも戸惑いました。

・口腔外科・麻酔科・病理診断

臨床実習の中で一番印象に残っているのがこのクールで、採血・皮下注射・切歯孔伝達麻酔・下顎孔伝達麻酔・副子の相互実習を行いました。正直、先生方が近くで見えてくれるとはいえ不安でした……。一番痛かったのは切歯孔伝達麻酔でした。副子も出血が思った以上にあつて鈍い痛みがしばらく続きました。

その他にも言語治療室や病棟の見学実習や縫合の実習も行いました。どれも貴重で勉強になる実習でした。

・義歯診療室

義歯診療室では様々な材料の使い方を学んだり義歯調整・修理の方法を学習しました。実際に臨床実習に出ると義歯調整を行う機会は多くここで学ぶことはそのまますぐ臨床実習で行うことになります。

・冠・ブリッジ診療室

この診療室では模型を用いて決められた時間の中で築造窩洞形成やTEK製作・個歯トレーの製作を行いました。今までの実習と違って何時までにやらないといけないという制限の中で形成などを行うので臨床に近い緊張感がありました。臨床実習に出ると基本的には午前は9時、午後は4時までに診療を終わらせないといけないので、このような時間制限の中でどこまで自分ができるかを知っておくのは大切だと感じました。

・歯の診療室

歯の診療室ではひたすら歯内療法やレジン充填を行いました。レジン充填は臨床実習でも頻度が高く僕は今現在(2010年12月23日)すでに4回行っています。臨床実習前の貴重な練習の機会になりました。ここでの実習は歯科治療の基本となるので経験できて本当によかったです。

・矯正歯科

矯正歯科では症例分析したり患者様に矯正装置について説明する実習を行いました。矯正装置の

説明はOSCEの課題でもあり、本年度はこの課題が出されました。ここでの実習が本番のOSCEで非常に役立ちました。

・予防歯科

予防歯科では集団検診や小児・成人検診の方法やフッ素塗布の実習を行いました。臨床実習が始まると保育園・小学校・高校などに歯科検診に行くので予防歯科で実習したことはそこに直接生きてきます。

今まで述べてきたように、ポリクリではOSCE

や臨床実習のために必要な経験と勉強するきっかけを与えてくれました。今総合診療部で実習を行っていますが、いざ患者様を目の前にすると勉強しなければいけないことがたくさん出てきます。ポリクリで十分に勉強しておけば臨床実習に出てから少しは楽になると思います。これからはポリクリで学んだことを基に、患者様のご協力ならびに指導医のご指導の下、自分の知識や技術をさらに磨き、一人前の歯科医師になれるように頑張っていきたいと思います。

